

事務事業実績測定調書

R5調書番号 393

事務事業名称	枚方市少人数学級充実事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教職員課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3	○	R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名	16-1.自ら考え生きる力と学力を育む教育の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2012(H24)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第5項				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立小学校に在籍している児童			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	習熟度に合わせたきめ細かな指導を受ける機会が不足する			
	ターゲットが抱える課題	枚方市立小学校に在籍している児童の基礎学力における苦手意識解消の機会が少ない			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市立小学校に在籍している児童の基礎学力の向上及び基礎学力における苦手意識の解消が図れた状態				
事業概要	小学校における少人数学級編制を充実させ、子どもたち一人ひとりに対し、きめ細かな指導を行うことで、児童への教育効果を高めることを目的とする。府内の公立小学校では、小学校第1学年及び第2学年で、1学級35人以下の少人数学級編制が実施されているが、本市では、支援学級在籍児童数を含んで1学級35人以下とする市独自の少人数学級編制を第4学年まで実施するため、学級数が増える学校に対して市費負担任期付教員を採用し配置するもの。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		児童の基礎学力の向上及び基礎学力における苦手意識の解消につながる。				各児童の習熟度に合わせて、きめ細かな指導を受ける。				少人数学級の編成にあたり、学級数が増える学校に職員を配置する。									
指標設定	指標説明		基礎学力のたしかめテストにおける平均正答率 【算出式:基礎学力のたしかめテストにおける受験者正答数合計／(全教科問題数×受験者数)×100】				市費負担任期付教員の配置人数				少人数学級数 【市基準の学級数－府基準の学級数】								
	単位		%		単位		人		単位		学級								
	指標種類		増加することが良いとされる指標																
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5			
		目標 (見込み)		90		90		90		90		71		70		68		60	
		実績		87.78		81.56		78.02		79.30		74		75		70		55	
達成度		88%																	

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	56.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	326,250	299,600	267,736		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	326,250	299,600	267,736		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		326,250	299,600	267,736		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	平成27年度から支援学級在籍児童を含めて35人以下とする本市独自の少人数学級編制を小学校第4学年まで実施、平成30年度には小学校第5、第6学年についても支援学級在籍児童を含めて40人以下とする少人数学級編制を実施している。小学校における学級編成の標準は40人（支援学級在籍児童は含まず。第1学年は35人。）だったが、法改正により令和3年度から令和7年度にかけて段階的に第6学年まで35人へ引き下げることになっている。令和5年度は、第1学年から第4学年までが35人以下の学級編制となり、本市独自の取組みとしては支援学級在籍児童を含めた学級編制の部分である。本事業を継続するためには市費負担任期付教員の採用・配置が必要であるが、課題として、教員不足について深刻な状況が続いているため、その対策を強化していく必要がある。 令和5年度は、本市独自の支援学級在籍児童を含めた少人数学級編制として、小学校第1学年から小学校第4学年までは35人、第5・第6学年については40人で実施とするため、市費負担任期付教員の採用・配置に取り組み、本市独自の学級編制による増学級数55学級に対し、任期付講師54人、臨時講師1人を配置した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	法改正により一定の定数改善がなされたため、本事業について見直しを図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 409

事務事業名称	枚方市生徒指導体制充実事業												
測定年度	2023 (R5) 年度			部	学校教育部			課	教職員課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち											
	実行計画名	16-2.快適で安心できる学習環境づくり											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2013 (H25) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	生徒指導体制を強化する必要があると認められる枚方市立中学校に在籍している生徒			
	サブターゲット	生徒指導体制を強化する必要があると認められる枚方市立中学校に在籍している生徒指導主事			
	ターゲットが抱える課題	生徒が自身の置かれた状況に応じたきめ細かな指導を受ける機会が不足する			
	ターゲットが抱える課題	生徒指導主事は、専門的な視点から助言等の支援を受ける機会が不足し、いじめや暴力行為などの問題行動に対応する生徒指導体制を維持することが困難となる			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	いじめや暴力行為などの問題行動が解消された状態				
事業概要	市立中学校に市費負担任期付教員または非常勤講師等を配置し、これまで以上にスクールカウンセラー等との連携を図り、子どもたちの声を受けとめ、きめ細かな対応ができる生徒指導体制を再編する。また、生徒にとって安全・安心な教育環境の充実を図り、生徒の豊かな人格形成を行う。 生徒一人ひとりの状況に応じた支援や指導をするため、生徒指導主事はスクールカウンセラー等とより緊密に連携し、専門的な立場からアドバイスを受け、担任や学年に対しての指導、助言に当たる。教員は、生徒たちへの接し方を工夫し、一人ひとりに対してよりきめ細かな指導を行う。これらの配置により授業が軽減された生徒指導主事が中心となって、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して迅速かつ適切に指導を行うなど、中学校の生徒指導体制を強化する。また、各学校において策定の上記いじめ防止基本方針に基づき枚方市生徒指導マニュアル(いじめ防止編)を用いた教職員の研修及び児童・生徒に対するいじめアンケートの実施、枚方市生徒指導マニュアル(体罰防止編)を用いた教職員の研修等により、いじめの未然防止と体罰の根絶に努める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）			
		いじめや暴力行為などの問題行動の減少につながる。				生徒指導体制を整えるため、中学校に加配講師を配置する				生徒指導体制を強化するため、加配講師を配置する必要があると認められる中学校を選定する。			
指標設定	指標説明	中学校における暴力行為の発生件数				加配講師の配置人数				配置する中学校数			
	単位	件	単位	人	単位	校							
	指標種類	減少することが良いとされる指標											
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 （見込み）	320	36	33	30	243	7	7	7	7	7	7
	実績	124	82	36	133	243	7	7	7	6	7	7	7
	達成度	-243%											

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	7.00
会計年度任用職員	0.48
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	30,450	29,960	33,467		
	会計年度任用職員	3,079	3,749	3,031		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	33,529	33,709	36,498		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		33,529	33,709	36,498		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費に
	府支出金	0	0	0	0	については、人員配置
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	をもとに平均人件費
	市債	0	0	0	0	を乗算しています。
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	費に充当されるもの
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	のみを記載していま

5. 総括的分析

総括的分析	◆加配希望があった学校からの調書等、複数の観点から精査した結果、令和5年度は中学校7校に市費負担任期付教員を1人ずつ配置し、4校には非常勤講師を1人ずつ配置した。現在、生徒指導主事が中心となって、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して関係機関と連携し、迅速かつ的確に指導を行っている。 ◇1学期末時点で、実績値が目標値を超えたため、令和5年度においては未達成となった。原因については、各学校が暴力行為のレベルを落とし、丁寧に対応している結果であると考え。また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、様々な学校行事がコロナ禍以前同等に戻る中、児童生徒間の接触や交流が活発になったことで、本来体験できていた経験等の不足により、うまくコミュニケーションが取れずに暴力行為へ発展してしまうケースもみられた。今後については、繰り返しの暴力を防ぐことはもちろん、そもそも暴力行為に至ることのないよう、日頃から生徒の自己肯定感等を高める発達支持的生徒指導を推進していく必要がある。 加配講師(任期付講師)配置校 令和5年度 第一中、第四中、津田中、中宮中、山田中、桜丘中、蹊跼中 ※(非常勤講師)第二中、枚方中、楠葉中、楠葉西中
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	全教職員が児童・生徒との信頼関係を築き、正しい児童・生徒理解のもと、生徒指導主担者(小学校)・生徒指導主事(中学校)を中心とした生徒指導体制を整え、適切な指導を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 821

事務事業名称	教職員給与等管理事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教職員課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	市町村立学校職員給与負担法、枚方市職員給与条例				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立小・中学校に在籍している教職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市費負担の教職員について市職員給与条例等に基づいて給与等を適正に執行する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市費負担の教職員について市職員給与条例等に基づいて給与等を適正に執行されている状態				
事業概要	教職員の給与について、その職務内容、経験、勤務時間、その他勤務に関する条件等に応じた給料と諸手当・旅費等の支給を行う。 ・市費負担の教職員については市職員給与条例に基づき給与事務を行う。 ・休業取得に係る申請承認の書類調査を行う。 ・教職員の諸手当、通勤に要する費用弁償等の支給、社会保険に関する事務を行う。 ・公立学校共済組合及び互助組合の掛金、負担金に関する事務を行う。 ・退職に伴う退職手当支給等の事務を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値													
		目標 （見込み）												
		実績												
達成度														

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,643	9,374	7,895		
	会計年度任用職員	854	823	637		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,497	10,197	8,532		
	物件費計	2,794	3,684	3,397	3,765	90.2%
歳出計		12,291	13,881	11,929		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		2,794	3,684	3,397	3,765	

5. 総括的分析

総括的分析	概ね、適正に執行できている。 課題として、人給システムの運用については属人化しており、人員の継承していくことが難しい。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	指導主事と行政職の人員配置を配分を含めて見直す必要がある。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 822

事務事業名称	教職員人事管理事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教職員課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	学校教育法 教育公務員特例法 教職員免許法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立幼稚園、小・中学校に在籍している教職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市立学校園の定数を適正に管理し、教職員の資質と指導力向上を図る必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	市立学校の定数を適正に管理し、教職員の資質と指導力向上を図るため、小中学校教職員人事基本方針に基づいて適正な人事配置がされた状態				
事業概要	市立学校の定数を管理し、教職員の資質と指導力向上を図るため、小中学校教職員人事基本方針に基づき人事配置を行う。 ・学校長とのヒアリング等による学校運営状況の把握、・管理職選考のため人事ヒアリング ・教職員の定員適正化について調査、統計事務 ・教職員の評価育成、・教員免許更新確認 ・非常勤講師の登録と採用内申・市費負担教員の選考及び採用 ・人事記録カード、・教職員データの調整				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値												
	目標 (見込み)												
	実績												
達成度													

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	5.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.97
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)			
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額 (参考) 予算執行率
歳出	人件費				
	正職員、再任用、任期付	40,071	39,060	42,633	
	会計年度任用職員	749	946	9,158	
	特別職非常勤	0	0	0	
	附属機関委員	0	0	0	
	人件費計	40,820	40,006	51,791	
	物件費計	0	0	0	0
歳出計		40,820	40,006	51,791	
歳入	国庫支出金	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0

5. 総括的分析

総括的分析	概ね、適正に執行できている。 課題として、電子化が進んでいないため、教職員の人事管理や講師採用に係る事務処理に多大な時間を要している。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	- 講師不足の解消に向けた取り組み - 人事管理システムの構築

事務事業実績測定調書

R5調書番号 823

事務事業名称	教職員労務管理事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教職員課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務	
事業期間	不明		年度	～	年度まで		
根拠法令等	地方公務員法第42条、労働安全衛生法第66条						
関係補助金名称				サンセット		～	
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	枚方市立幼稚園、小・中学校に在籍している教職員					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	教職員が勤務する職場の安全衛生と健康の確保を図る必要がある					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	教職員が勤務する職場の安全衛生と健康が確保がされた状態						
事業概要	職場の安全衛生、健康を確保することを目的に、労働安全衛生体制を維持し枚方市立学校に勤務する教職員の健康管理を行う必要があるため。 ・教職員の健康診断、がん検診等を業務委託して行う。 ・長時間勤務者を対象に派遣医師による問診を行う。 ・常時50人以上の教職員が勤務する学校に産業医を派遣し衛生委員会を実施する。 ・公務災害の認定手続きを行う。 ・教職員のストレスチェックを行う(平成28年度から)。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.90
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.24
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,786	12,499	15,001		
	会計年度任用職員	0	0	530		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,786	12,499	15,531		
歳入	物件費計	19,539	23,069	21,061	26,101	80.7%
	歳出計	31,325	35,568	36,592		
	国庫支出金	0	0	375	633	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	375	633	
一般財源（物件費に充当されるもの）		19,539	23,069	20,686	25,468	

5. 総括的分析

総括的分析	安全衛生と健康を確保するため適切に事務執行を行った。 令和5年度から文部科学省からの委託事業である「メンタルヘルス対策に関する調査研究事業」を実施し、メンタルヘルス対策及び労務管理の強化に着手した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	「メンタルヘルス対策に関する調査研究事業」の継続、推進する。 - 労務管理の強化を図るため、保健師等の任用と健康管理等の必要な事務執行体制を構築する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 829

事務事業名称	学校園職場環境充実事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教職員課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	小・中学校に在籍している教職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	意識啓発を行う場の設定が少ない			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	教職員が自己啓発の取り組みにより、教育活動意欲が向上している状態				
事業概要	持続可能な学校運営を行えるよう、研修などを通じて意識啓発を図る。 【研修テーマ】 ・服務規律 ・健康管理 ・業務改善				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						各種研修等に教職員が参加している。				各種研修等を実施する。			
指標設定	指標説明					研修参加人数				研修実施回数			
							単位	人			単位	回	
	指標種類												
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	6	6	6	6
	実績					424	492	526	776	7	12	13	11
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.70
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	5.86
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,786	7,812	5,527		
	会計年度任用職員	5,916	5,862	12,206		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	17,702	13,674	17,733		
	物件費計	120	100	77	100	77.0%
歳出計		17,822	13,774	17,810		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		120	100	77	100	

5. 総括的分析

総括的分析	研修等により、学校管理職等に持続可能な学校運営について考えさせ、学校が意欲的に効果的な手立てを検討し、実行していくことができた。労働安全衛生活動のあり方について学ぶ研修を実施したり、好事例を情報発信することで、管理職の労務管理の意識が高まり、効果的な取組の横展開が見られた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	- 働きやすさ（労働安全衛生の充実）と働きがい（ワークエンゲージメントの充実）について学ぶ研修の機会を増やし、学校組織の強化を図っていく。 「笑顔の学校」プロジェクト参加校の拡大。 - 教員業務支援員の全校配置。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 900

事務事業名称	教職員課運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教職員課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間		年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁等				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	教職員課に在籍する職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	課の運営を円滑に図り、組織としての機能を適正かつ効率的に発揮している状態。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,286	9,374	7,895		
	会計年度任用職員	0	2,589	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,286	11,963	7,895		
歳入	物件費計	964	1,095	2,567	1,134	226.4%
	歳出計	7,250	13,058	10,462		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	14	0	1	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	14	0	1	
一般財源（物件費に充当されるもの）		964	1,081	2,567	1,133	

5. 総括的分析

総括的分析	課の運営を適正に行った。
-------	--------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き適正な運営に取り組む。